

## 第3期日高市教育振興基本計画（案）に対する市民コメント募集結果

No	頁	意見の概要	市の考え方
1		日高市は全国の自治体の中でも学校現場に配慮した施策を打ち出していることと思います。今回の振興基本計画では、教育界の諸課題が網羅されており充実した内容になっていると思います。注目すべきは文科省が熱を入れる「GIGAスクール構想」と「主体的・対話的で深い学び」でいかに学校目線で施策を実現できるかが問われると思います。日高市は豊かな自然に囲まれており、環境と教育を掛け合わせた教育を推進することも重要かと考えます。ICT環境が整いつつある今、端末はツール程度であり、児童・生徒の発達段階からも自然と触れ合いながら、自分で計画し、実行し、反省し、再挑戦するという仕組みづくりをより盛り込んでいくことも教育の発展につながるのではないのでしょうか。	本市は豊かな自然に囲まれており、それらの特色を生かした教育を進めていくことは、将来を担う子どもたちにはとても大切なことであると考えております。「GIGAスクール構想」や「主体的・対話的で深い学び」につきましては、実現に向け授業改善を図るなどし、計画的に推進してまいります。
2		本計画は、第6次日高市総合計画前期基本計画と計画期間が重複しています。技術的なこととなりますが、関係課と調整の上、表現、数値など整合したものとしてください。	第6次日高市総合計画と整合を図りながら策定いたします。
3		公用文では「常用漢字表」に原則拘束されることとなっています。漢字、平仮名、送り仮名などの表記は言葉によってどれが適切か難しいものがありますが、本計画の中で表記されている言葉については十分どれが適切かどうか確認して記載してください。	再度確認を行いました。「表記ゆれ」につきましては、本計画内で統一したものとなるよう努めて策定いたします。
4	6～12	本計画の6～12ページにおいて、第2期計画の基本目標ごとにこれまでの主な取組と今後の課題が記載されています。第2期計画では前期の状況を「上昇しているもの、達成しているものの指標数」「現状値と目標値の数値」として一部ですが数的な記載があります。しかしながら、本計画では第2期計画で設定した成果指標に対する平成32年度を目標とした数値が全くありません。主な取組や課題はこの5年間の状況を踏まえて記載しているとは思いますが、設定した全指標について数値結果を記載してください。これを見て達成できなかったものについては、経緯・経過を検証し、なぜできなかったかを記載していただきたいと思ひます。	ご指摘にある「今後の課題」につきましては、時代の潮流や第2期計画の指標の進捗状況等を勘案し、本計画で取り組み解決すべき課題を抽出しております。第2期計画に掲げている指標の結果につきましては、最終年度である令和2年度の数値が確定しておりませんので、参考資料として、令和元年度までの指標の状況を本計画の巻末に資料編として掲載する予定です。最終的な結果につきましては、まともしだい市ホームページ等で公表いたします。
5	13	本計画13ページに日高市教育ビジョンが設定されています。日高市教育ビジョンは、本市の教育の方向性を示すものとあります。第2期計画を読めば、今回のものはここで、おそらく設定されたものとは推察できます。しかしながら、ここを読んだだけでは、設定時期、目標年次、どういう経緯で定まったかが分かりません。また、解説には、人生100年時代や超スマート社会の到来が予想されるとありますが、もう一部には現実ではないですか。分かりやすく記載していただきたいと思ひます。	ご意見を踏まえ、「教育は人づくりであり、人づくりはまちづくりにつながります。令和3（2021）年度から5年間の本市の教育の方向性を示すため、教育を取り巻く社会背景やこれまでの取組、今後の課題等を踏まえ、日高市教育ビジョンを次のとおり定めます。」に改めます。また、人生100年時代や超スマート社会（Society5.0）につきましては、時代の変化を表す例として記載しております。
6		本計画の指標は総合計画前期基本計画と重複して掲げられた目標もあります。重複した目標と本計画だけで設定した目標について、5年後評価するわけなので、考え方をよく整理しておいた方が良く思ひます。また、重複した目標については、前期基本計画と指標名、数値など整合したものにしてください。 （1）不登校の関係 ①不登校率…26ページ、前期基本計画にはなし ②中学校1年生の不登校の割合…32ページ、リーディングプロジェクトと前期基本計画施策14にあり （2）人権講演会の関係 ①人権講演会等への年間延べ参加人数…38ページ ②人権講演会などへの参加者数…前期基本計画 施策1 人権講演会については、関係課と調整してください。ほかの指標についてもよく確認してください。	6次日高市総合計画と整合を図りながら策定いたします。 （1）不登校の関係 ①は不登校対策を推進したことによる成果として、全体の不登校率の低減を指標としております。②はコミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育を推進したことによる成果として、いわゆる中1ギャップの解消に主眼を置いた指標としております。 （2）人権講演会の関係 ①関係課と調整し総合計画の指標に合わせました。
7	27	基本目標Ⅲ 質の高い学校教育の推進、施策1教職員の資質・能力の向上があげられています。大変良いことが記載されていますが、現状はどうですか。令和元年度は県内で教職員によるわいせつ行為、飲酒運転などの不祥事が39件発生し、過去10年間で最も多かったそうです。10日に1件の割合です。昨年5月には非常事態として県教育長からもメッセージが発出されています。教職員以前に人としてどうなのという率直な気持ちになります。2019年1月野田市で起こった小4女子児童虐待事件でも学校関係者や児童相談所が厳しく批判されました。起こった場合、被害者、各方面に甚大な影響が発生します。本計画には、このような状況になっているというような危機感が感じられません。現在は通常時ではなく非常時だという強いメッセージを盛り込むべきと思ひます。	教職員による不祥事は、長年かけて築き上げた教育に対する信頼を著しく損ねるものであり、断じて許されるものではありません。この状況を非常事態であると重く受け止めております。また県教育委員会教育長より不祥事根絶のため、教育委員会、各学校の管理職が現在の危機的状況をしっかりと自覚し、絶対に不祥事を起こさないという強い決意を持つこと、その上で、教職員一人一人の心の奥にまで届くような指導を、粘り強く繰り返し行うことが重要であると、強いメッセージがありました。本計画に具体的な内容は盛り込みませんが、今後はより一層強い危機感を持ち、教職員への指導を引き続き行ってまいります。
8	33	基本目標Ⅴ 家庭・地域の教育力の向上があげられています。幼児教育や家庭教育への支援などについては、子育て応援課との関係があると思ひます。第2期計画では「保育士及び小学校教員との相互交流や合同研修会を行う」などと記載されています。担当課に加えた方がよろしいかと思ひます。	ご意見を踏まえ、基本目標Ⅴ施策1の主な取組に「■幼児教育と小学校教育の連携（学校教育課）幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続を図り、子どもたちの健やかな育ちを支援するため、幼稚園、保育園、小学校の連携を推進します。」を追加しました。

No	頁	意見の概要	市の考え方
9	37	基本目標Ⅵ 生涯学習の振興と人権教育の推進があげられています。人権教育などについては、総務課と関係があると思います。第2期計画では「市長部局、関係団体と連携し」と記載されています。担当課に加えた方がよろしいかと思ひます。	ご意見を踏まえ、「行政が一体となり」の部分を「市長部局、関係団体と連携し」に変更いたします。
10		現在国内では、新型コロナウイルス感染症収束に向けての取組が一番の課題になっています。教育関係者皆様方も昨年からは大変なご苦労ではと察しております。令和3年度から第6次日高市総合計画、第3期日高市教育振興基本計画がスタートすることは絶好のタイミングだと思ひます。それぞれの計画で高い目標が掲げられています。目標の達成、計画の推進に当たっては職員一丸で取り組んでいく体制をぜひ構築してください。どうすれば達成できるかを考え、そして市民、地域に働きかけて日高市の教育、まちづくりが進展することを期待します。	ご意見に沿うよう取り組んでまいります。
11	3, 4	4. 教育を取り巻く社会背景 ここに発達障害や外国籍の子どもについての記述がないのは不十分ではないでしょうか。	ご意見を踏まえ、p6の今後の課題に「障がいのある子どもや帰国・外国籍の子どもなど多様な教育的ニーズに応じた教育が受けられるよう、機会の提供や配慮、支援を行っていく必要があります。」を加えました。
12	21	施策5 多様なニーズに対応した教育の推進 ここには福祉部局や障害児通所支援事業者などとの連携（福祉との連携）という表現を入れられないでしょうか。	現段階では連携の計画はありませんが、今後研究してまいります。
13	23	施策1 豊かな心を育む教育の推進 この中に、子どもたちの非認知能力、自己肯定感、レジリエンスを育てることは入れられないでしょうか。生きる力の獲得のためには今後とても重要なことだと思います。	ご指摘のとおり、子どもたちの非認知能力、自己肯定感、レジリエンスの育成が大切であると認識しております。基本目標Ⅱの実現に向けて1つ1つの施策を確実に取り組むことによって、具体的にそのような能力が身につくものと考えております。
14	24	施策2 いじめ防止及び不登校対策の推進 ■不登校対策の推進（学校教育課） 不登校対策は、「不登校の解消に向けた対策」という表現ではなく、「不登校児童生徒への適切で効果的な支援」と、「不登校を生じない学校づくり」の両面から書くべきではないでしょうか。	ご意見を踏まえ、未然防止の観点から、「不登校の解消に向け、」を削除しました。
15	27	施策1 教職員の資質・能力の向上 学力向上も、いじめや不登校対策も、「主体的・対話的で深い学び」の実現も、小中一貫教育の成否もこの施策にかかっていると過言ではないと思ひます。教員は、子どもに対する理解、授業づくりのスキル、学級づくりの力量、なにより人権意識や社会性、人間性を備えた人物でないと困ります。ここには、ぜひ日高市教育委員会が望む教員の姿がわかる書き方をさせていただきたいです。	ご意見のとおり、「教職員の資質・能力の向上」は重要な施策の1つです。本市の教育委員会では、教員に「主体的に学び続ける教員」を求めていますので、基本目標Ⅲに記載いたします。
16	43	政策マネジメントサイクルについて、この図ではPDCAのそれぞれにどこが（誰が）関わるのかわかりません。例えばCには外部の人や専門家が関わるのか。あまりにおおざっぱな図ではないでしょうか。	毎年度、教育行政の事務の管理及び執行については、教育振興基本計画策定等委員会や学識経験者の方に点検、評価をさせていただいておりますので、その旨、本文中に記載いたします。また、図に関しましては、政策マネジメントサイクルの仕組みを市民の皆様に分かりやすくイメージしたものとさせていただきます。
17		武蔵台のコマキチのように、子供達が安心して放課後過ごせる場があると良いと思ひます。このような環境の整備について、計画いただけますでしょうか。	放課後子ども教室をはじめ、子どもたちが放課後等に安心、安全に過ごせる場所づくりについて、学校、地域、家庭が更に連携を図って進めてまいります。
18		放課後子ども教室、有意義でしたがもう少し持続的、非限定的な場もあるといいと思ひました。日高市には児童館がなく、小学生の放課後や休日の子どものみだけで安心して遊べる場が少ないように思ひます。コミュニティスクールの拠点ともなる公民館に児童館の設備が併設されるとうれしいです。（欲を言えば図書室も。）そこで地域の方との交流もできれば尚よいのではないのでしょうか。	児童館設備につきましてご意見を参考とさせていただきます。以下17と同じ

No	頁	意見の概要	市の考え方
19	19, 20	伝統と文化を尊重しグローバル化に対応した教育の推進 主な取組の項目では、グローバル化イコール国際社会で活躍できる教育の推進であり、外国語教育の充実を図るとしてある。しかし、グローバル化が伝統と文化と同一項目で扱われていることから推察できるように、国際社会で活躍するには単純に外国語能力だけでなく、語れるコンテンツを身に付けている必要があることは周知の事実。地域社会から、日本、世界へと好奇心を上げられるような教えが望まれます。そうはいても、みんながみんな国際社会で活躍するというのは将来的にもありそうにない。地域の外国人と衝突せず共生できるようなスキルを身に付けるくらの心構えでよろしいような。そうなると、外国語というよりも異文化理解（世界にはいろんな人がいる、レイジズムは恥ずかしい、とか）でしょうか。外国語指導助手を英語圏の人だけでなく、色々な文化的（歴史的、宗教的）背景を有する人にやってもらうのが良いかも。	ご意見を参考とさせていただきます。
20	43	PDCAサイクル これを入れないとマズイのは分かるのですが、もともと教育の評価というのは（学力運動能力以外だと）容易ではないうえに、5年という短期間では結果も明らかにならない項目が多々ありそう。と思ったら、評価指標が施策の一部しか拾っていないんですね。評価になじむ項目で勝負すると。なるほど。例えば、上記(1) (p19伝統と文化を尊重しグローバル化に対応した教育の推進) に関しては、英語検定合格率ですね。異議ありませんが、それはあくまでも関係者に納得していただくためのネタであると見切ってください、施策に記載されている評価できないが本質的なところ（伝統と文化を尊重する。ひいては、日本、世界、異文化を知る。）を押さえて欲しいです。	ご意見を参考とさせていただきます。
21	37	図書館の充実 これも評価が難しいと思います。指標はやはり市民一人当たりの貸出冊数ですね。これは、ベストセラー的な話題本を揃えれば伸びるでしょうが、やはりネタでしかない。それで活用度が上がっても、知の拠点として充実！とは言えないのでは。今、図書館のサイトを眺めたら、やはり予約数上位は東野圭吾氏、池井戸潤氏辺りですね。住民サービスとしてアリだとは思いますが、「知の拠点」と謳うのは恥ずかしい感じ。これって上から目線か？個人的には、郷土資料をがっつり揃えてまっせ、みたいなのが恰好良いと思われます。	ご意見を参考とさせていただきます。
22	19	「新たな時代に求められる資質や能力」が具体的にどのような能力なのか理解しがたいです。 ※同様ご意見外2件	社会の加速的な変化の中でも社会的・職業的に自立した人間として伝統や文化に立脚し、高い志と意欲を持って、蓄積された知識を礎としながら、膨大な情報から何が重要かを主体的に判断し、自らの問いを立てて、その解決を目指し、他者と協働しながら新たな価値を生み出す力のことです。
23	30	コミュニティースクールについて、地域で子育てといっても、協議会がいつ開かれ、何を話しているか、保護者として協議会にどう関わられるのか、意見や要望を伝えられるのか、分からない状態ですが、現実子育てしている保護者に具体的に表示していただきたいです。 ※同様ご意見外1件	コミュニティ・スクールは学校運営協議会を設置した学校で、当該学校の運営及び当該運営への必要な支援に関して協議する機関です。本年度から日高市全6地区で始まりました。協議会で話し合われている内容については、当該学校のホームページや学校だより、協議会だより等で地域に発信していますが、まだ市民の皆様への周知にまで至っていない状況です。今後は「広報ひだか」に活動内容や様子について計画的に掲載していくとともに、パンフレットを公共施設等に配布し、地域と共に歩む学校づくりを積極的にアピールして参ります。
24	19	「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善の推進とあるが、このために具体的に何をするのか、計画に記載してほしい。難しく、一番大切なことだと思うが、このテーマに対して策が何も無いように見える。 ※同様ご意見外2件	具体的な授業改善の推進として、日高市GIGAスクール構想の実現を図ることで、今より児童生徒の意見の発表する場が増えることで主体的・対話的な学びができ、また思考する時間が増えることで深い学びにつながると考えております。
25		もっと、創意工夫を必要とするような授業にしてほしい。 前に住んでいた市と比べて、キットの利用が多い印象。色がカラフルやキャラクター化してるようにも感じられたり、簡単に作れるように思われました。エプロンをつくる時の型紙や、凧づくりなど、考えなくてもできるようになっているのでは。全員が同じようにできることを重視しすぎてるように感じます。上手い子と下手な子がいて、そこから学びが得られるべきなのではないか。与えられた中で、創意工夫せず、みんな同じもの（型どおりのもの）を作るのが良い、という教育をされているように感じる。 工作の時間に、表現の自由を制限しすぎではないか。難しいテーマに取り組みたい子もいたり、やりたいことを応援してくれる体制はあってもよいのでは。	小学校（図画工作）学習指導要領では、表現及び鑑賞の活動において、子どもが感性や想像力を十分に働かせることが一層重視することと示しています。そのことを踏まえ、教師が子どもたちの創意工夫を引き出す授業ができるよう、キットの精選や活用等も踏まえた研修を充実させてまいります。
26	20	「環境教育、資源エネルギー教育」について、環境破壊や気候変動の被害を一番被るのは今の子どもたちなので、彼らにきちんと今の状況や問題を知り、自分たちは何をすればいいのかを考える機会をもっとあげてほしい。 ※同様ご意見外2件	子どもたちの学習の中では環境問題として地球温暖化や大気汚染などが挙げられています。特に二酸化炭素が原因であることも学習します。今後も社会科や理科の授業等を通して、環境問題について考える機会を作っていきます。

No	頁	意見の概要	市の考え方
27	22	何をもち「確かな学力と自立する力」が身についたとするのか、目標が合っていないように見える。 ※同様ご意見外1件	1つ1つの施策を確実に進めることによって身に付くものと考えます。その成果を計る目安の1つとして、指標を設定しております。
28		思考力、判断力、表現力は、何をもち評価するのか。 ※同様ご意見外2件	ペーパーテストのみならず、論述やレポートの作成、発表、グループや学級での話し合い、作品の制作や表現等の多様な活動を取り入れたり、それらを集めた成果物（ポートフォリオ）を活用し評価していきます。
29	25	食育の推進「生涯にわたる健康づくりの基礎」とあるが、出汁の授業でうま味調味料をつかっていた。うま味調味料の味を出汁の味として教育することは、この趣旨に叶うのか。食育としては逆効果ではないか。 ※同様ご意見外1件	小学校（家庭科）学習指導要領では「様々な材料からだしをとることについて触れ、だしを使うことで風味が増すことを理解できるようにする」とされており、その一環で顆粒だしを使用した事例があったと承知しております。今後も子どもたちが望ましい食習慣を身に付けられるよう努めてまいります。
30		情報をとりに行っていない保護者も怠慢かもしれないが、情報が分かりにくい。どういふことを子どもに対してやってくれているのかを、もっと積極的に情報発信してほしい。それを計画に書いてほしい。	現在情報提供として、学校だよりや学級だより等だけでなく、積極的に情報発信すべくメール配信システムや学校ホームページにて情報を提供しております。今後も情報発信の仕方については研究してまいります。
31	25	マスクによる発達への影響について、市はどのような見解か。これだけコロナ対策が長期化するなかで、子ども達がマスクをしている時間が長すぎることによる、発達への影響が懸念される。マスクを極力必要最小限に絞るよう、子どもに教育してほしい。マスクの紐が血流を阻害することによる影響が、医師の間でも言われ始めていることについて。	マスクによる発達への影響については、様々な情報を集め、子どもたちにとってよりよい教育ができるよう研究してまいります。
32	29	欧米の状況を見ていると、逆に、年少期はタブレットやスマートフォンに触れさせないようにする動きがある。タブレットはいらぬ、なぜならば。。。家に持ち帰らないで学校に保管して帰宅するならタブレット教育より、自分の手を使って考える方がよりよいのでは。いかに画面に洗脳されてしまうかももう一度振り返ってみては。タブレットの利用について、保護者にアンケートをとってほしい。何を期待して、何を懸念しているのか。タブレットの弊害について、教育委員会ではどれぐらい情報収集、検討されているのか。「授業における児童生徒のICT機器活用率」これの分母は何か。必ずしもタブレットの使用が効果的でない授業でも、使うことが求められ、タブレットの使用が目的化することが懸念される目標になっているように見える。タブレットの導入後、現場の先生と保護者の対話の機会を設定してほしい。導入してみてもどうか、先生のお話も伺いたいし、家庭での子どもの変化もお伝えしたい。既に導入している飯能市の保護者意見も参考にしたい。タブレット導入を推進することばかりが計画にうたわれているようだが、デメリット（健康被害や脳の発達の変化など）を最小化する、ケアすることも、きちんと本計画にうたってほしい。電磁波の健康被害が気になっている。電磁波過敏症を子どもが発症した場合に、学校は責任をとってくれるのか。タブレット導入による視力の低下が懸念される。視力の低下への対策はどのようにされるのか。 ※同様ご意見外1件	タブレット端末による子供たちへの影響については、様々な情報を集め、子どもたちにとってよりよい教育ができるよう研究してまいりたいと思います。「授業における児童生徒のICT機器活用率」の分母は、「授業数」です。
33		日高市には児童館がないが放課後や土日に子供達が集えるような場所があった方がよいのでは。集える場でカルチャースクールや講師を招いて新たに多ジャンルで習える機会をもっと増やす検討をして頂きたい。	17と同じです。
34	19	少人数学級は学力の向上につながり、不登校児童も登校しやすくなるといわれているので、小中学校とも1クラス30人定員として、教員の負担減と生徒を決め細かに見られる環境を目指して頂きたいです。	1学級の児童生徒数は、「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の基準に関する法律」に示された数を標準として、埼玉県教育委員会が定めた定数に従って決められております。
35	23	読書活動の推進のため、全学校図書室に司書を常駐するようにし、休み時間に図書室を開室するよう計画して頂きたいです。	ご意見として賜ります。

No	頁	意見の概要	市の考え方
36	25	水泳授業の廃止を計画して頂きたいです。水泳授業は梅雨時期で中止になることも多く、年数回程度しか使用しないにも関わらず、学校プールには膨大な維持費と老朽化による改修費がかかります。また、小学校では体育の教師でない教師が、命に関わる事故の恐れがある水泳指導に当たることの教師への負担と指導力への疑問もあり、全国各地で学校プール廃止の動きが広がっています。近年では川や海などの水遊びの際にはライフジャケットや浮き輪を使用することが定着してきており、水泳の高度な技術を身につける必要性には疑問があります。また、水泳を身につけていても着衣で溺れるなどしてしまった場合には実践でその技を使うことは難しいと思われます。以上のことから、水の危険については座学で学ばせるようにしていくよう計画頂きたいです。	水遊び、水泳運動、水泳は生命にかかわることからとても重要な授業です。小学校（体育）学習指導要領にも明記され、「浮く、もぐる、呼吸する、進む」などの技能や安定した呼吸の仕方を身に付けることが課題です。また、安全確保につながる運動も明記され、背浮きなども指導に追加されました。本市は水泳の技能を高めることが可能となるのは、夏の季節に限られます。そのことを踏まえ限られた時間の中で子どもたちの泳力を高める指導を行うとともに安全に授業を進められるよう努めてまいります。
37	25	学校での持久走や朝マラソンの廃止を計画して頂きたいです。小中学生は骨と筋肉の成長する時期であり、大人よりも骨と筋肉をつなぐ腱への衝撃と負担が多く、長距離の走行は成長によく影響があると言われてしています。子どもに持久力を求めて体への負担を与えるよりは、短距離の練習で速さを身につける方法を学ぶことを重視する指導に代えて頂きたいです。	小学校（体育）学習指導要領には多様な動きをつくる運動遊び、長距離走などが明記されており、体の様々な動きを身に付けたり高めたりすることがねらいです。子どもたちの体力向上の観点から、マラソン大会や持久走大会は各学校の判断で実施しています。
38	25	予防歯科と、健康な体作りのために大いに意味がある歯列矯正に、市から補助金を出すように計画して頂きたいです。正しく咀嚼できることは臓器への負担を減らし、結果として医療費の削減にもつながると考えられます。歯列矯正は高額で、日本では保健の対象外であるため、もし日高市が児童への歯列矯正の補助金給付を始めたら、全国的にも話題となり、日高市へ子育て世代の移住者が増えることが見込まれます。	ご意見として賜ります。
39	26	早期から避妊や、性的同意を取ることの重要性、妊娠、中絶などの正しい知識をきちんと伝えることがとても大切だと思うので、ぜひそのことを計画に記載頂きたいです。（できれば小学4年生から、遅くとも中学1年になる前に。）現状のままでは、アダルトサイトやポルノから得た情報を教科書としてしまい、望まぬ妊娠や若年での中絶、デートDVなどにつながっていくと考えられます。	基本目標Ⅱの施策5に記載しております。また、小学校4年生の保健「体の発育・発達」、5年生の理科「生命の誕生」で体つきが変わったり、どのように赤ちゃんが誕生したりするのかを学習します。また専門性のある養護教諭とのティームティーチングなどを通して、子どもたちへの理解を高めてまいります。
40	26	13人に1人はいるといわれている、LGBTQ(今はSOGIという表現が一般的)への配慮を性教育の授業と学校の現場両方で行って頂きたく、計画にものせて頂きたいです。血液型と同じように生まれながら色々なSOGIがあるということを、授業内で全員に対して、必ず話すよう進めて頂きたいです。	保健学習で性教育を取り上げます。また、人権週間などの取組と兼ねて、人権を取り上げます。今後、研修会等で教職員の指導力向上に努め、子どもたちへの意識を高められるように努めてまいります。
41	26	おいしく安全な給食を提供するために、学校給食の自校調理化を計画して頂きたいです。	当計画の期間内において、自校方式に移行する計画はございません。
42	33	放課後子ども教室は、地域の方々に見守って頂きながら、多学年で楽しい経験が持てるとてもよい活動だと思います。ぜひ、実施回数を週1度程度に増やしていただくとよいと思います。また、武蔵台地区で行われているコマキチのような放課後の居場所となる環境がもっと増えるよう計画して頂きたいです。	17と同じです。
43	35	学区ごとに、放課後の居場所となり、安全に遊べる児童館を設置することを計画してほしいです。もし新たな施設を建設することが難しければ、公民館の中に児童館のような遊びのスペースを作ることを目指して頂きたいです。	児童館設備につきましてご意見を参考とさせていただきます。以下17と同じです。
44	19	もっと、創意工夫を必要とするような授業にしてほしい。前に住んでいた市と比して、キットの利用が多い印象。工作の時間に、表現の自由を制限しすぎではないか。	25と同じです。
45	25	自己肯定感をどう育てるのか、計画に書いてほしい。成績が良いこと、競争に勝つこと、先生の期待に応えること、先生に怒られないことだけが良しとされる教育にならないよう。	13と同じです。
46	26	「安心で安全な給食」について、具体的に市はどのような点が課題と考えているのでしょうか。その課題を解決するための施策を計画に書いて頂きたい。地場産食材を使用した日の割合では、3%の増加が意味をなさないのでないでしょうか。費用や重量の割合にしてほしい。また、5年かけて3%は少ないのでは。	安心で安全な給食の提供に当たっては、学校給食衛生管理基準に基づいて、今後も適切に取り組んでまいります。重量や金額ベースでの割合は、今まで算出しておりませんので、検討課題としております。また、実際の食材の購入状況を考えますと3%の増加は適正であると考えます。

No	頁	意見の概要	市の考え方
47		当たり障りのない子、を良しとしている教育になっている印象。 出る杭は打たれる。ありのままを出しにくい。 多様な子どもたちの個性から、日々起きること（トラブルも含めて）から、学んでいくことが、これからの時代に求められる能力に繋がると考えますが、いかがでしょうか。 それが、LGBT等の問題にもつながる。	様々なことが急速に変化し予測が困難な時代にあつて、学校教育は子どもたちは変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していく力をつけていくことが大切であると考えております。
48		社会に対する参加意識を育ててほしい。 18歳へのアンケート結果。 地域社会や国、地球規模の問題について考え、それに対して貢献する、地域の困りごとを解消すること、それにより感謝されることの喜び、面白さ、を体験させてほしい。	若者の社会参加への意識の醸成につきましては、新成人の実行スタッフによる成人式の企画運営、「ひ・まわり探検隊」体験教室や「放課後子ども教室」での学生ボランティアの募集など実施しているところです。 今後も、このような若者が参加できる事業の充実に努めてまいります。
49		担任の先生は子供たちにとって良いこととでも考えて授業を考えてくれていると感じます。けれど、国から？県から支給される教材は図工や家庭科のキットが多く、何も考えなくてもできるものが多く感じます。考える力を身につけたいと思うならタブレットですぐに検索したら答えがでるようなものより、先生と図書室に行って疑問に思ったことを一緒に調べたり、せっかくなさく自然があるのだから体験して経験した方が子供の心に残り、将来ひきこもりの子などが少なくなるのではないかと思います。なのでタブレットが来年度から全生徒に配られると聞きましたが、どのように使う予定なのか、是非聞きたいです	ご指摘のようにGIGAスクール事業により、全児童生徒に一人1台配付します。これにより、多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない公正に個別最適化された学びや創造性を育む学習が可能となります。例えば、課題に対する各自の考えを即時に共有し、互いの意見を尊重し合いながら共同で課題への回答を作成することができます。またこれまで算数では、これまでは全員が同じ問題を解いていました。タブレットにある教材を使用することで個々のニーズに応じた内容の学習ができるようになります。
50		放課後、子供が安心して遊べる場所が日高はないと感じます。鶴ヶ島の公民館によく行く機会があるのですが、児童館、図書館が併設されていて、そこで放課後も子どもは遊べるそうです。外にも小さいけれどボール遊びできるスペースもあります。 日高にも是非ご検討お願いします！	児童館設備につきましてご意見を参考とさせていただきます。 以下17と同じです。
51		マスクを使用するようになってから、子供の頭痛を訴えるようになりました。今まで頭が痛いと言うことなど一度もなかったのですが、マスクの使用で耳の裏の血流が悪くなり、頭痛になることがあるそうです。 1日マスクをするリスクもあると思います。もう少しマスクに対してはこれからコロナが長期化するならば考えて欲しいです	31と同じです。
52		これからの学校教育は、技術革新の進展に合わせた、情報活用能力の育成を図りつつ、国際社会でも問題に上がっている、地球環境教育が求められると考えます。今計画の5年間には、現在よりも気候変動が顕著に現れ、子どもたちの学びの環境は保証されないかもしれません。 そんな時代に生きる子ども達に、今から地球の現状を伝え、持続可能な暮らしのために、今自分たちのできる行動を考えさせ、学校、家庭、地域が連携して「自分たちが取り組めることを考える」ことは、これからの生きる子ども達が学ばなければならない、一番大事な教育だと考えます。そのためにも基本施策に「持続可能な暮らしに向けた意識の向上、子ども達の未来」などを付け加えていただきたいです。 知識、学力向上も大切な項目ですが、地球環境が維持されなければ、子ども達の未来もありません。 現在の地球の問題点、現在の自身の生活から見る気候変動への原因、自身の考えや意見、身近にできる取り組み・解決策等、1年生から中学3年生まで、自身の未来のためにも学年のレベルに合わせて取り組み、各学校区でできる取り組みを考え、実践するよう取り組んでいただきたいです。 (例)①各家庭の生ごみを地域に回収箱などを設置し、たい肥化して、各地域の学校や公共施設、花壇等で使用する。市民の活用も促す。 ②各学校で上記のようなたい肥利用、または、残飯を自校でたい肥化し、農産物に使用する。 農業体験は、単なる体験ではなく、日課と位置付ける。 地球環境に配慮した無農薬・無化学肥料の重要性も伝え、実施する。 単発の種まき・草取り・収穫だけでなく、定期的に手を加えて育てる。 できた野菜を給食にプラスして味わう。高学年は多品種作って地域向け販売や調理して生産から食すまでの一連性を学ぶ。 売上げたお金で、栽培したい野菜などを生徒自身が提案し、育てる。 子ども達はこの経験から、野菜を作ることの大変さと大切さ、面白さ、地球への配慮と仲間との協働、達成感を学ぶことができる。	子どもたちの学習の中では環境問題として地球温暖化や大気汚染などが挙げられています。特に二酸化炭素が原因であることも学習します。今後も社会科や理科の授業等を通して、環境問題について考える機会を作っていきます。 子どもたちの住む地球で「今、何が起きているのか」を明確にし、各教科を通して、「自分たちにできることは何なのか」を考えることはとても大切なことです。各学校では、「自分たちにできること」に結びつけるために、総合的な学習の時間等において、ごみ問題について話し合ったり、学校ファームでの農業体験を行ったりしています。また、環境教育として、他にもどんなことができるのかなどを追求できるように指導助言していきます。

No	頁	意見の概要	市の考え方
53	23	豊かな心を育む教育の推進について 上記のような農業経験の取り組みをしつつ、市内・近隣市町村の持続可能農業実践事業者を訪問し、実際の仕事を見学する等、より実りのある地域の社会見学があるとよい。 現在高麗小では3年生で狭山茶の勉強をし、実際に事業所へ行くのですが、まずは身近にお茶の木を植え(もしくは地域で協力)、クラス単位で茶葉の収穫、蒸して乾燥などを体験し、試飲したのちに、では、「日高市名産の狭山茶はどこでどのように作られているのだろうか」など、広げられると良いのではないかと。もしくは見学後に、自分たちで作ってみる。 現在は、家庭で子どもが日本茶に触れる機会が少ないので、名産として学校で狭山茶を教えていただけるのはありがたいことです。文化は大切なのでぜひ丁寧に時間を割いていただきたいです。	ご指摘のように農業体験や自然体験等の体験活動は、人と人のつながりや地域を知る等、子どもたちの豊かな心の育成に欠かせないと考えます。本市では、コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育を今年度より全地区で開始いたしました。学校・家庭・地域が一体となって、子どもの成長につなげたいと考えております。
54	25	児童生徒の健康管理と保持増進 学校給食への地場食材の使用について JAいるまのさんには、通年通して多種類の地場野菜が納品されていますが、市内の学校給食献立表を見ると、今月の地場野菜は「長ネギ・白菜だけ」ということもしばしば。市内の農家さんから多品種を直接買い付けなどはできないのでしょうか。 また、食も地球環境を考慮する時代になるかと思えます。 日高市として、今から市内の農産物を有機栽培に転換していく施策を講じ、農家さんとの連携を深め、市内の学校給食を有機食材に変換する目標を掲げていただきたいです。 また、主食のお米に関しましては、全国的にも有機米導入の動きも見られます。 地球環境・子どもの体の健康のためにも、有機栽培農産物の利用推進を願います。	地場産食材の使用にあたり、食材の品質の他、数量の確保と価格も考慮しております。また、主食の米飯につきましても同様に、品質の他、数量の確保と価格も考慮しております。
55		センターの老朽化に伴い、自校式希望 人口減少に伴い、コミュニティスクール9年制になることから、学校ごとに特色ある自校式調理場が実現すると良いと思います。例えば、特色として、各学校で栽培したお米や野菜を給食で提供（お米や野菜は生徒と地域の有志で栽培）、メニューなども栄養士の助言を受けながら生徒の意見も反映。地域ごとの文化行事と併せた給食など。また、生徒が実際に調理場体験として、給食調理員として調理するなど。	41と同じ
56	24	積極的・組織的な生徒指導の推進 校内生徒指導体制を確立とありますが、基本的には子どもの人権を尊重し、生徒一人ひとりの行動や発言、考え方が認められる環境であって欲しいです。 「組織的な」というと、「こうでなければならない」「規則に従う子=良い子」「模範を守らせよう」という構図を思い浮かべてしまいます。まず、校則は誰のためのものなのかを考えていただきたいです。「子どものため」に作っていただきたいです。都内の麹町中学校は、校則も定期テストもないそうです。 子どもの人格においても多様性を認め、個を尊重しています。その先にある指導方法も特殊で、一例を挙げると下記の通り。 ・叱るときはしつけの最上位目標を考えて、メッセージ性を込める。 ・協調性は目的達成のための一手段であって、目的そのものではない。(今回の日高市の「積極的・組織的な生徒指導」は意味合いによっては、「みんな模範となる良い子を育てよう」に感じてしまいます。息苦しい子が出てきそうで心配です。) ・最低限の絶対のルールは2点。命にかかわることはしない、人権に反することはしない(犯罪、差別、いやがらせ、無視) 上記は参考となりますが、やり方や見方を変えたと、校則や定期テストは、必須ではないのかもしれませんが。その在り方も生徒たちが自ら学校と話し合いを重ねて作り上げていってもよいのではないかと思います。学校生活が息苦しい場にならないことを願います。	校内生徒指導体制の確立とは、いじめの未然防止や積極的な認知をし、一教員だけで対応するのではなく組織的に対応し、安心・安全な学校づくりを目的としています。また、文部科学省では、校則を「児童生徒が健全な学校生活を営み、よりよく成長・発達していくため、各学校の責任と判断の下にそれぞれ定められる一定の決まり」と定義しています。子どもたちがよりよく成長できるよう各校に指導してまいります。
57		5年間より短い期間で、継続、修正等の見直しをすることは難しいのでしょうか。 学校教育は優先度が高い＝特に子育て世代には、注目度の高い事だと思えます。きめの細かい教育計画で、日高市の人口減少の歯止め役にもなるかもしれませんがいかがお考えでしょうか。	本計画は、教育(学校教育や社会教育等)に関する基本的事項を定めた計画となり、5年間の計画期間につきましては、国や県の教育計画、市の総合計画が5年間であること等を勘案し適正であると考えます。しかしながら、毎年度、教育に関する点検評価等を行う中で、計画の改訂が必要な場合は適宜見直しを図ってまいります。

No	頁	意見の概要	市の考え方
58	22	<p>「授業における児童生徒のICT機器活用率」0.8%→95%とありますが、我が家ではタブレット、パソコン、ゲーム機は基本的に禁止としています。理由は①依存性が高い②視力の低下に繋がる③情報量が多すぎて、特に子供には不適當であると思う。実際に、スウェーデンの精神科医が、「タブレット端末での学習効果は紙の教科書よりも著しく劣る」という研究結果を著書で紹介しています。④Wi-Fi環境下での健康被害が心配</p> <p>大まかに以上のような懸念材料がありますが、日高市では、市民意識、ICT機器活用にあたっての調査などは、どのように行って、導入を検討したのかをお知らせいただきたいです。</p>	<p>タブレット端末による子供たちへの影響については、様々な情報を集め、子どもたちにとってよりよい教育ができるよう研究してまいりたいと思います。また、導入に関しては国が発信しているGIGAスクール構想をもとに検討してまいりました。</p>
59		自己肯定感をどう育てるのか。	45と同じです。
60		マスクの着用によつての弊害（発達や健康被害）について、しはどのように考えていますか。	31と同じです。
61		当たり障りのない子が良しとされている感じを受けます。	47と同じです。
62		キットを使った授業が多いと聞きました。	25と同じです。
63		情報を取りにいかないわたしたちほごしゃもたいまんかもしれないが、情報がわかりづらいことが多いと感じます。	30と同じです。